

平成27年度 行政評価 施策カルテ

施策名	1 スポーツ活動環境の充実
-----	---------------

施策主管課	スポーツ振興課	総合計画記載頁	117ページ
-------	---------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	II 市民の学ぶ意欲と豊かなこころを育むために	政策名 (基本施策名)	11 生涯にわたるスポーツ活動を促進する	政策の達成目標 (基本施策目標)	人材や団体、自然などの地域資源が活かされながら、市民それぞれの目的に応じた自主的・継続的なスポーツ活動が活発化し、暮らしの中にスポーツがより深く浸透しています。
------	-------------------------	----------------	----------------------	---------------------	--

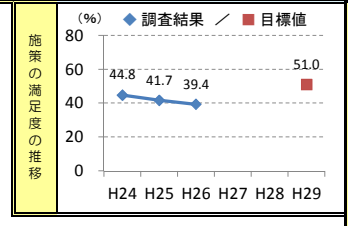
2 施策の取組状況

施策目標	市民が主体的に自分に合ったスポーツに取り組んでいます。
------	-----------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価		
	指標1	20歳以上の市民の週1回以上のスポーツ活動実施率(%)	単年度目標値	49.3	49.4	49.5	49.6	49.8			50.0	B	指標3	施策の満足度(%)	調査結果	44.8%	41.7%	39.4%			
	現状値	実績値	49.2	51.6	41.7				目標値(H29)	51.0%	前年度からの増減				-3.1%	-2.3%					
	目標値(H29)	単年度の達成度	99.8%	104.5%	84.2%																
指標2	地域スポーツクラブがカバーする地域数(地域)	単年度目標値	-	6	9	10	12	12	A	【参考】中核市等との水準比較	20歳以上の市民の週1回以上のスポーツ活動実施率(%)		中核市平均	37.5	38.0	34.3					B
	現状値	実績値	-	6	10						実績値	49.2	51.6	41.7							
	目標値(H29)	単年度の達成度	-	100.0%	111.1%						中核市での本市の順位	7位/41市中	4位/41市中	14位/42市中							
	現状値	実績値								中核市平均											
	目標値(H29)	単年度の達成度								実績値											
										中核市での本市の順位											

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 通増型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 通減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上(主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり(主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ(主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調:(A評価が2つ以上(C評価がある場合を除く。)) [90点以上]		
	概ね順調:(主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]		
	やや遅れている:(C評価が2つ以上) [65点未満]		

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況									
---------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

施策を取り巻く環境等	・少子高齢化の進行や平均余命と健康寿命の乖離など、社会環境が変化している。また、健康志向の高まりなども含め、スポーツに対するニーズが多様化している。 ・プロスポーツチームの活躍や「ねりんピック栃木2014」の実施による機運の高まりが見られ、さらには、平成32年の東京オリンピック・パラリンピック、平成34年に栃木県で開催が予定される国民体育大会などビッグスポーツイベントの効果により、さらなる機運向上が期待できる。	市民満足度	ライフスタイルの多様化や健康志向の高まりなどから、スポーツ実施の利便性や施設面など、市民のスポーツへのニーズが多様化・高度化していることなどを背景に、施策の満足度が前年度と同様の水準にとどまっていると考えられる。	総合評価	79点
施策指標	前年度の東京オリンピック・パラリンピックの開催決定の機運は、一定継続していると考えられるが、高齢化や就労機会の拡大などを背景にスポーツ活動実施率が減少したものと考えられる。				概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象、★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(最大5事業選択)

No.	事業名	戦略P・主要事業※	事業が属する総合計画の構成事業名	事業内容		事業の進捗状況	H26事業費(千円)	開始年度	日本一施策事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	地域スポーツクラブ支援活動事業	○★	地域スポーツクラブの育成、活動支援	一般市民	市内全域がカバーできるよう、地域スポーツクラブの設立、運営を支援	計画どおり	9,300	H14		平成26年度は、2クラブが新設され、また、クラブ間の連携強化と活動の活性化を目的とした「市地域スポーツクラブ連絡協議会」を設置した。地域スポーツクラブは、スポーツ振興に加え、まちづくりやいきがいつくり、健康づくりなどに大きく貢献しており、今後、新たなクラブ設立に向けては、地域実情やニーズを捉えながら、各種支援に取り組みとともに、既存クラブの活性化支援、連絡協議会との連携による情報発信などに取り組んでいく。
2	ニュースポーツの普及促進	★	ニュースポーツの普及	一般市民	・スポーツ振興課所有の各種用具の貸出 ・ファミリーバドミントン大会の開催	計画どおり	180	H14		市民が身近な場所で、より自発的に、いつでも気軽にスポーツに取り組めるよう、種目の見直しや地域スポーツクラブとの連携などを行いながら、引き続き、ニュースポーツ用具の貸出やイベントの開催、情報提供などに取り組む。
3	市民スポーツ大会の開催		スポーツ大会、スポーツ教室の充実	一般市民	14競技による「第52回宇都宮市民スポーツ大会」(地区対抗戦)の開催	計画どおり	1,017	S38		市体育協会や競技団体等と連携し、市民ニーズを踏まえながら、種目の追加・廃止を行うなど、市民が大会に参加しやすい環境を整え、参加者の増加を図り、本市競技スポーツの振興を図っていく。
4	マラソン大会の開催		スポーツ大会、スポーツ教室の充実	市民等	清原工業団地周辺道路を会場とした「第28回宇都宮マラソン大会」の開催	計画どおり	4,502	S62		マラソン大会は、市民の健康づくりや生きがいづくりに効果的であることから、安全性を確保するとともに、参加者の満足度を更に高めるための大会の運営方法について検討を行い、円滑に大会を運営し、参加者の拡大に努める。
5	スポーツ教室の開催		スポーツ大会、スポーツ教室の充実	市民等	「スポーツ教室」の開催(主催はスポーツ振興財団)	計画どおり	スポーツ振興財団対応	—		本市における各種スポーツ・レクリエーションの普及とスポーツ人口の拡大を図るため、スポーツ振興財団と連携を強化し、今後も取り組んでいく。
6	冒険活動事業(学校利用)		野外活動事業の充実	市立の小学5年生及び中学1年生	教育課程に位置づけられた2泊3日の冒険活動教室	計画どおり	18,790	H8	トップクラス	里山の自然の中で、子どもたちが主体的に体験活動に取り組み、それに伴うさまざまな困難を克服し、感動や成功感を味わい、自らも問題を解決する能力を養うとともに、豊かな心を育むために、新たな活動プログラム開発と活動指導者の質の向上に取り組んでいく。
7	冒険活動事業(一般利用)		野外活動事業の充実	市民等	主催事業の計画運営	計画どおり	184	H8		市民のニーズを把握し、より多くの市民に参加してもらえよう、関係団体等との連携を密にししながら、広報紙やHPなどを通して広く市民に周知していく。
8	スポーツ情報システム整備事業	★	スポーツ情報提供の充実	・一般市民 ・スポーツ関係者	スポーツ情報システム「U-sports」の管理運営	計画どおり	130	H22		市内のスポーツ情報を網羅し、様々なスポーツ関係者が参加・利用可能な情報発信の場として、情報量や質などの充実について検討しながら、スポーツ情報システム「U-sports」の周知、利活用を図る。
9	スポーツ施設等の整備	○★	スポーツ施設等の整備	・一般市民 ・施設利用者	計画に基づき、市民ニーズに対応したスポーツ施設整備	計画どおり	1,214,528	—		これまでも市体育館の大規模改修などを実施してきたところであるが、生涯にわたるスポーツ活動促進に、スポーツ施設の整備は重要な事業であることから、市民ニーズや施設の老朽化等の状況を的確に捉えながら、スポーツ施設整備計画の見直しを実施し、計画的かつ着実な改修や機能向上を図っていく。
10	スポーツ広場整備補助金		身近な地域におけるスポーツ活動の場の充実	一般市民(自治会、体育協会等の公的な団体)	地域主体によるスポーツ広場の設置・整備費用に関する補助	計画どおり	0	H21		身近な場所で気軽にスポーツに親しむ場の充実を図るために、自治会等によるスポーツ広場の整備は有効であることから、設置の支援とあわせ、既存広場の改修への補助金の活用について周知啓発等を行いながら、補助を継続する。
11	宇都宮市スポーツ振興財団運営補助		スポーツ活動団体の育成・支援	宇都宮市スポーツ振興財団	市民スポーツ活動の普及、その他事業の実施のための補助	計画どおり	246,008	S56		宇都宮市スポーツ振興財団は、本市スポーツの振興に大きな役割を担っていることから、補助を継続するとともに、今後のさらなる事業充実に向けた取組を促進していく。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
課題	<p>「スポーツ推進計画」に基づき、誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味・関心、目的に応じて、いつでも、いつまでもスポーツに親しむことができる「ひとり1スポーツの実現」を図るため、地域におけるスポーツ活動の促進やスポーツ人口の裾野拡大、関係機関等と連携した機運の醸成などが必要である。</p> <p>・スポーツ人口の裾野拡大やスポーツへの機運向上を図るため、プロスポーツやビッグスポーツイベントの効果的な活用や連携が必要である。</p> <p>・ニーズの多様化などスポーツを取り巻く環境が変化し、施設の老朽化が進む中、民間との役割分担等も踏まえ、効果的・効率的、かつ計画的に市民スポーツ活動を支える場であるスポーツ施設の整備や機能向上を図る必要がある。</p>
方向性	<p>〈施策全般〉</p> <p>◆生涯スポーツ社会の実現、すなわち「ひとり1スポーツの実現」を目指し、平成27年3月に策定した「宇都宮市スポーツ推進計画」に基づき、子どものスポーツへの興味・関心の高揚など「ライフステージ等に応じたスポーツ活動の推進」や、地域におけるスポーツ活動の推進、スポーツ施設等の整備など「スポーツ活動環境の充実」に取り組む。</p> <p>〈主要事業〉</p> <p>◆地域スポーツクラブ支援活動事業 地域の実情やニーズを的確に捉えながら、地域と連携し市民に身近な活動の場としての環境整備を進める。具体的には、新たなクラブの設立を促進するとともに、既存クラブの安定的な運営や活動のさらなる活性化に向け、継続した財政支援や側面的支援を行っていく。また、地域スポーツクラブ連絡協議会により、クラブ間の連携強化を行い、より各クラブが発活に活動できるよう、支援する。</p> <p>◆スポーツ施設等の整備 利用状況やニーズ、本県での国体の開催も勘案し、市内のスポーツ施設の配置バランスや向上すべき機能など多面的に検討し、スポーツ施設整備計画の改定を行う。</p> <p>〈その他個別事業〉</p>